

令和3年

第5回仙北市議会臨時会

市 政 報 告

仙 北 市

令和3年第5回仙北市議会臨時会 市政報告

令和3年第5回仙北市議会臨時会の開会にあたり、主要事項についてご報告します。

はじめに、新型コロナウイルス感染症についてです。

仙北市では8月に初めて感染者が発生してから、毎日のように発生が続いていました。しかし、最近は皆様の感染対策が功を奏して沈静傾向に転じ、ここ1週間では2人の感染者にとどまっています。合計の市内累計人数では、55人を超える感染者が発生したと推計しています。

総合給食センターは9月13日から給食を再開し、生保内中学校は9月15日から、角館小学校4年生は9月14日から登校を再開しています。市役所では、コロナ感染に関係した部署のすべての職員が通常業務に復帰しました。

市民の皆様、議会の皆様にご心配をおかけしたこと、心よりお詫びを申し上げます。

一方、ワクチン接種については、9月11日までに第3クルールの接種を終了し、12歳以上の対象者のうち64%(15,000人余り)の市民が2回の接種を終了しました。第4クルールは、9月19日からスタートし10月30日までに終了する予定です。最後の集団接種となりますので、できるだけ多くの市民が接種されることを期待しています。

次に、一般会計補正予算(第6号)についてです。

補正額は1億1,336万6千円の追加で、補正後の額は215億8,492万1千円です。補正事業は、秋田県議会議員補欠選挙費、仙北市経営維持支援金給付事業費、給食材料費、仙北市学校給食応援事業費です。

それでは、各部局等の主要事項及び諸般の状況を報告します。

【総務部】

◇第三セクターの経営改善について

第三セクターの抜本的な経営改善に向けて山田コンサルティンググループにコンサル業務を委託し、8月27日に中間報告があり、9月8日には事業再編の素案が示されました。

その概要ですが、各第三セクターが現状のままで現行の事業を継続していくことは極めて困難であり、重複している事業や赤字と想定される事業を中心に統合や撤退を行うなど、合理化を図ることが骨子となっています。併せて合併、株式移転、会社分割、事業譲渡等の検討が必要であることも指摘・提案されています。

今後、市役所内で内容を精査し、再度山田コンサルティンググループと協議を重ねることにしていますが、11月中旬には、今後の方針が示される予定で、それぞれの株主の理解を得るための株主総会の開催も視野に、事前に説明の機会を持ちたいと考えています。また、12月定例会までには、議会の皆様に今後の第三セクターの運営の方向性について具体的な基本方針をお示ししますので、ご議論いただきますようお願いいたします。

◇総合教育会議について

出生数の急激な減少に伴い、将来的な児童生徒数の減少が危惧されている一方で、小・中学校の施設の老朽化も進んでいることから、9月10日、「持続可能な学校教育を目指して」をテーマに総合教育会議を開催しました。

会議では、教育委員会から、今後の市内各小・中学校の児童生徒数の推計と学校適正配置の現状の考え方が報告されたほか、昨年度策定した学校施設長寿命化計画の概要が説明されました。

委員からは、仙北市全体の緊急な課題であるとの認識で取り組まなければならない、それぞれの地域の意見集約を図ることは困難を伴うが、現状を説明し地域ごとに意見を聞く機会を持つなど、地域と一つに

なって方向性を出していくべき、などの意見が出されました。

教育長から、ここ数年の出生数の状況と施設の老朽化を考えると、今後5年を目途に方向性を出さなければならないとの発言がありました。私も、市として教育委員会と歩調を合わせ取り組んでいくべきだが、それほど時間があるわけでもなく、先ず想定作業を明らかにしたロードマップの作成を指示し閉会しました。

【市民福祉部】

◇角館こども園の民営化について

先般の定例会で、認定こども園条例を廃止する条例を議決いただきましたが、令和4年度からの民営化に向けて移譲先であるはなさき仙北と定期的に協議を続けています。今月中には、移譲に関する基本協定書や移譲に伴う職員の取扱いに関する覚書を締結することにしていて、円滑に民営化が進むように課題を整理しています。

はなさき仙北では、角館こども園の移譲を見据えて保育教諭等の必要となる職員の採用を予定していて、9月19日に一次試験が行われるとの報告を受けています。また、保育体制が大きく変わることがないように市の保育教諭の派遣についても要請があり、一定の期間派遣を行う予定としています。

【観光文化スポーツ部】

◇祭り・イベント等の中止について

「角館祭りのやま行事」ですが、今年の実行委員会で関係行事の中止を決定し、曳山の運行や舞台の設置、町内の交通規制などは行いませんでした。ただし、伝統継承の観点から神明社前と薬師堂前に大置山を設置したほか、お囃子・手踊りなどは行わない条件のもと、曳山の飾り付け・展示は各丁内の判断とし、18の丁内のうち8丁内が曳山を展示し、6丁内が人形のみを展示を行いました。

また、神明社と薬師堂の参拝者への感染症予防対策を実施したほか、丁内単位での参拝スケジュール調整など、さまざまな対策に取り組

みました。

2年連続で中止とせざるを得なかった角館のお祭りですが、来年度こそという思いでいっぱいです。

次に、「抱返り紅葉祭」については、9月7日に実行委員会で検討した結果、現状の新型コロナ感染状況等から、令和3年度の紅葉祭は中止することを決定し、飲食や舞台などの観光イベントは行わないことになりました。なお、今のところは、例年の紅葉祭期間に当たる10月10日から11月10日まで抱返り駐車場を開放し、遊歩道の散策は可能とする予定です。

また、仙北地域振興局と協力し、看板設置などにより河川公園などでのなべっこ禁止についての呼びかけも行います。

◇観光経済対策について

7月22日から9月30日までの日程で実施中の「2021仙北市プレミアム宿泊支援事業」について、秋田県内及び仙北市内の新型コロナ感染等の影響により利用が伸び悩んでいるため、終期を9月30日から12月31日に延長しました。

また10月1日から開始を予定している「2021仙北市プレミアム宿泊支援事業(第2弾)」についても、現在、秋田県で実施が検討されている新規事業「冬季宿泊・観光関連事業者支援事業」の実施期間を鑑み、予定されていた終期を12月31日から2月28日に延長して実施します。

【農林商工部】

◇プレミアム商品券について

新型コロナの影響による地域経済の低迷に対する消費の喚起や住民生活の支援を行うため発行した仙北市民プレミアム商品券は、9月1日から9月15日までの期間で第2次販売の申し込みを受け付けしました。9月10日時点での商品券換金状況は、換金率37.6%、換金額14,676万2千円となっています。

◇本年産米の作況について

民間調査会社が発表した7月末現在の本年産米の収穫予想によると、全国作況指数は102の「やや良」となっています。本年は6月以降の高温の影響により生育が早まり、出穂期も平年より3日から5日ほど早く、秋田県も103の「やや良」の見通しです。

刈り取り作業も最盛期を迎えようとしています。刈り取り適期を逸しないよう、良質米の生産が図れるよう期待しています。

以上、主要事項及び諸般の報告を申し上げます。本臨時会に提案している案件は、予算関係1件です。

慎重審議の上、ご可決を賜りますようお願い申し上げます、市政報告とします。